

脱炭素先行地域 進捗状況報告票

提案者名	北海道鹿追町
共同提案者名	
対象年度	令和5年度

<総論>

1. 令和5年度における計画の変更箇所について

交付金活用期間の変更（R12まで→R9まで）及び資材高騰等の影響により、当初の提案内容からの一部事業の廃止及び交付金活用を取りやめて令和10年度以降に実施することを検討し、計画提案書の内容を変更した。主な変更内容は下記のとおり。

■役場周辺エリア

- ・「役場庁舎」はNearly ZEB化を廃止。ガスヒートポンプ空調を導入。
- ・「健康温水プール」は、Nearly ZEB化を廃止し、LED化のみ実施。
- ・「鹿追小学校」は、LED化を2030年度までに実施へ変更。
- ・水素燃料電池、太陽熱利用設備の導入を廃止。
- ・「道の駅」は、令和10年度からの事業実施へ変更。
- ・太陽光発電、蓄電池を増設。

■瓜幕エリア

- ・「山村留学センター」は、Nearly ZEBから『ZEB』にする。
- ・メタンコジェネ10kWの導入は廃止し、水素燃料電池5kW導入にて代替。
- ・太陽光発電、蓄電池を増設。

■エネルギー供給エリア

- ・バイオメタン精製・圧縮設備の導入廃止。

2. 今後の計画の変更可能性、今後の展開について

- ・役場周辺エリアでは、設計・施工実施業者との契約結果に基づき、各項目の事業費を変更・調整する可能性がある。
- ・瓜幕エリアでは、基本設計の結果に基づき、各項目の事業費を変更・調整する可能性がある。
- ・然別湖エリアでは、ホテル経営者が変わる予定であり、規模の縮小又は増加、実施項目変更の可能性はある。

3. 評価委員からの講評（選定時、年度フォローアップ）に対する対応状況

【講評】2025年度に新たに設立を目指す地域新電力会社は、出資企業が選定されており、今後、事業性評価を複数年で実施することにより、着実に設立に向けた検討・調整を行うことを期待。

【回答】地域新電力設立について、予定事業者である鹿島建設で検討を進めてきたが、主力電源である第3BGPの新設に不確実性が出てきたことから設立を見送る方向性となった。現在、エネウィルと地域新電力設立に向けて協定を締結（2024.3.29）し、町内の2基のバイオガスプラント及び太陽光発電の再エネ価値（非化石証書）を取得して、供給していく予定。また、併せて町内遊休地を活用した系統用蓄電所によるリスクヘッジ+町内再エネ拡大の土壌づくりを検討中。

【講評】水素エネルギーについては、近隣地域との連携した需要確保などにより事業性を確実にする必要があるところ、特にこれらについては、今後、評価委員会でもフォローアップしていくので、早期に対応されたい。

【回答】鹿追水素ファームにて、水素エネルギーの利用先の拡大について、営業展開をしているところである。水素ステーション用は、現在の主な出荷先であり、町内でFCVの導入促進が行われているほか、今後水素燃料電池バスの導入も見込まれている。燃料電池用は、現在チョウザメの飼育用に出荷されているが、鹿追町の脱炭素先行地域内でも今後出荷が見込まれているほか、他の民間企業や自治体にも燃料電池導入の働きかけを行っている。産業用は営業展開を行っているところであり、道東の企業に出荷予定のほか、他の地区でも調整中である。

【講評】令和8年度に新設予定の北鹿追バイオガスプラントについて、酪農を取り巻く情勢を踏まえて、設備容量の規模や整備しない場合を想定した再エネ調達の方法まで検討が進められている点を評価。今後、分散型による整備や既存プラントの長期活用など、多面的に検討するとともに、地域新電力会社の設立等を含む体制面の確保が進められることを期待。

【回答】個別型プラントを中心に検討を進めている。新電力については、上記回答のとおり。

【講評】然別湖エリアにおける既存・休業ホテルの省エネ改修事業等について、事業買収に関心を持つ事業者との買収交渉が難航しており、事業開始の見通しが立っていないことを懸念。特に休業ホテルについては、令和8年度に予定する工事に向けて、令和6年度には事業実施者が導入計画を作成し、令和7年度には設計を実施する必要があるため、本事業の担い手と実施スケジュールを決定し、令和6年度のフォローアップで報告すること。

【回答】既存ホテルと休業ホテルを合併が検討されているところであり、国立公園も含めて新ホテルの建設を計画。今後ホテル側の事業計画に合わせて交付金事業の実施を検討。脱炭素先行地域の交付金を活用する際の事業スケジュールは共有済み。

【講評】役場周辺エリアにおける公共施設のNearly ZEB化について、整備費用の精査の結果、役場庁舎の改修方法など当初想定されていた整備計画を変更する可能性が示されているため、令和7年度に予定されているエリア一体でのZEC化改修工事に向けて、導入設備の規模を決定し、令和6年度のフォローアップで報告すること。

【回答】設計の結果、予算内で工事実施内容を取捨選択する必要があることから、役場内で優先順位を検討して発注内容を精査。脱炭素先行地域の事業計画の変更を実施（別紙参照）。




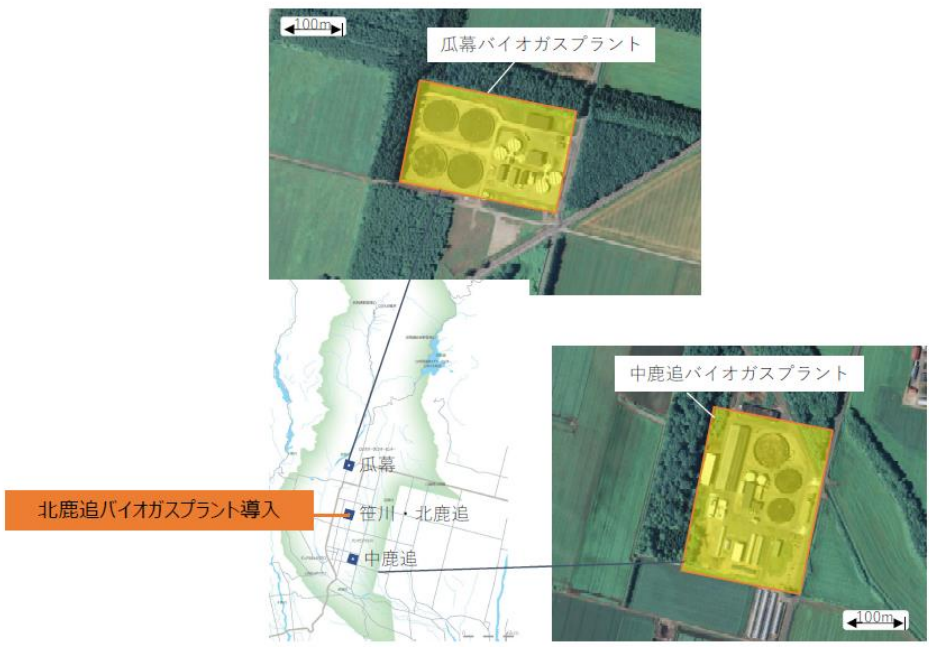
4. その他特記事項

<対象年度の事業費の額（各取組）、活用を想定している資金>

取組No	取組内容	導入量・台数	令和5年度の事業費(千円)	令和5年度に活用予定の資金金額(千円)					事業費に関わる費用効率性(円/t-CO2)
				交付金	補助金	地方債	一般財源	その他(金融機関や民間事業者からの資金等)	
163490002	役場周辺エリア_トリムセンター_Nearly ZEB化改修		3,754	2,503			1,251		124,818
163490003	役場周辺エリア_神田日勝記念美術館_Nearly ZEB化改修		3,166	2,110			1,056		14,324
163490004	役場周辺エリア_町民ホール_ZEB Ready化改修		14,224	9,482			4,742		40,200
163490019	役場周辺エリア_役場_プロパンガスヒートポンプ(バイオガス由来)		95	64			31		88,577
163490028	瓜幕エリア_山村留学センター_ZEB化建替え		18,689	12,459			6,230		93,287
163490038	然別湖エリア_北岸野営場_FCEV・V2H導入		740	555			185		—
163490043	役場周辺エリア、瓜幕エリア、その他の公共施設群_役場、公民館10箇所_FCEV・V2H導入		4,442	3,331			1,111		—
163490044	プロジェクト調整委託		68,809	68,809			0		—
163490049	役場周辺エリア_健康温水プール_Nearly ZEB化改修		5,403	3,602			1,801		24,295

地方債の種類	金額(千円)

<主なエリア図と進捗状況>

エリア図貼付欄	導入場所・導入設備記入欄
	<p>役場周辺エリアZEC化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMSの改修、各施設のNealy ZEB化改修等を一括で発注するための要求水準を作成中。令和5年度の導入無し。</p>
	<p>瓜幕エリア基本構想策定業務を発注し、山村留学センター等の施設管理者と合意形成を行いながら、概略設計を実施。令和5年度の導入無し。</p>
	<p>既存ホテルと休業ホテルを合併が検討されているところであり、国立公園も含めて新ホテルの建設を計画。今後ホテル側の事業計画に合わせて交付金事業の実施を検討。脱炭素先行地域の交付金を活用する際の事業スケジュールは共有済み。令和5年度の導入無し。</p>
	<p>バイオガスプラントの新設については、物価変動等により事業費の見通しが立たず、当初計画の規模、時期での建設が難しい状況となっている。2030年までの導入が難しい可能性があるが、必要な検討は既に行っており、事業費の問題がクリアできれば着手できる状況である。2030年以降の導入も視野に情勢等も見極めながら検討を継続している。</p>

【対象年度までの「実質ゼロ」の達成率】

$$\left(\frac{0}{0} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div 6,077,264 (\text{kWh/年}) = 0 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅							0			
	その他							0			
民生・業務その他	オフィスビル							0			
	商業施設							0			
	宿泊施設	2	507,771					0			
	その他	1	60,880					0			
公共	公共施設	339	5,508,613					0			
	その他							0			
合計			(C) 6,077,264	0	0	0	0	(A) 0	(B) 0	0	

【対象年度における新規再エネ導入量 (kW)】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	0								0

【電力需要家との合意形成の状況について】

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	なし			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	然別湖エリア	3	C	既存ホテルと休業ホテルを合併が検討されているところであり、国立公園も含めて新ホテルの建設を計画中。今後ホテル側の事業計画に合わせて交付金事業の実施を検討。
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	公共施設群	323		地域新電力設立について、予定事業者である鹿島建設で検討を進めてきたが、主力電源である第3BGPの新設に不確実性が出てきたことから設立を見送る方向性となった。現在、エネウイルと地域新電力設立に向けて協定を締結（2024.3.29）し、町内の2基のバイオガスプラント及び太陽光発電の再エネ価値（非化石証書）を取得して、供給していく予定。 また、併せて町内遊休地を活用した系統用蓄電所によるリスクヘッジ+町内再エネ拡大の土壌づくりを検討中。
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

<民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現について>

【再エネに係るもの】

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程						役場周辺エリアの太陽光発電導入			
							瓜幕エリアに太陽光発電導入			
							瓜幕エリアに水素燃料電池導入			
							道の駅に水素燃料電池導入			
							然別湖に太陽光発電導入			
	目標値 (単位:kW)					125	259		5	
	単年度 累計					125	384	384	389	389
状況	工程	役場周辺エリアの概略設計・発注準備								
		瓜幕エリアの概略設計								
	実績 (単位:kW)	0	0							
	単年度 累計	0	0							

令和5年度 of 取組概況	役場周辺エリアの概略設計・発注準備。瓜幕エリアの概略設計。
---------------	-------------------------------

【省エネに係るもの】

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程						役場周辺エリアのNearly ZEB化、ZEB Ready化改修			
							瓜幕エリアに新山村留学センター導入			
								道の駅のNearly ZEB化		
							然別湖エリアの既存ホテルLED化、断熱化			
	目標値 (単位:kWh)	単年度				57536	1070010			3,366
		累計				57536	1127546	1127546	1127546	1130912
状況	工程		役場周辺エリアの概略設計・発注準備							
			瓜幕エリアの概略設計							
	実績 (単位:kWh)	単年度	0	0						
		累計	0	0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0						

令和5年度の取組概況	役場周辺エリアの概略設計・発注準備。瓜幕エリアの概略設計。
------------	-------------------------------

<民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組>

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程							然別湖エリアで温泉熱利用			
								然別湖エリアの休業ホテルのZEB化再建			
								役場周辺エリアの電気式ヒートポンプ空調の導入、ガス式ヒートポンプ空調の導入			
								瓜幕エリアに太陽熱利用、水素燃料電池導入			
		脱炭素車両等の導入									
		道の駅に水素燃料電池導入									
	目標値 (単位:kW)	単年度					5	397			5
		累計					5	402	402	402	407
状況	工程		脱炭素車両の導入								
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0.9	2.3							

令和5年度の取組概況	脱炭素車両をR4に2台、R5に3台導入。
------------	----------------------

<共通KPI>

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	3,865,901	28,729,321	0	0	248,634,593
	累計	0	0	0	0	3,865,901	32,595,222	32,595,222	32,595,222	281,229,815
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

<個別KPI>

■指標：集中型バイオガスプラント設置等による循環型社会構築乳牛ふん尿処理頭数（頭）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	4,300	0	0	0	0	0	0	0	6,000
	累計	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	10,300
実績	単年度	4,300	0							
	累計	4,300	4,300							

令和5年度の実績詳細	既存バイオガスプラント処理頭数
------------	-----------------

■指標：ワーケーション受け入れ回数（回）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3	4	5	6	7	8	9	10	12
	累計	3	7	12	18	25	33	42	52	64
実績	単年度	3	2							
	累計	3	5							

令和5年度の実績詳細	R5年度2回受け入れ。
------------	-------------

■指標：ゼロカーボン連携企画実施数（環境教育、セミナー、研修等）（回）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3	4	5	6	7	8	9	10	12
	累計	3	7	12	18	25	33	42	52	64
実績	単年度	2	3							
	累計	2	5							

令和5年度の実績詳細	第46回EST創発セミナー（2023.10.10）、親子で省エネ講座・エネルギーの“創・蓄・省”とものづくり教室」（2024.1.11）、ゼロカーボンセミナー（2024.1.30）
------------	--

■指標：地域新電力売電量(kWh)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	18,376
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	18376
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

令和5年度の実績詳細	なし
------------	----

■指標：新規雇用者数(人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	20
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

令和5年度の実績詳細	なし
------------	----

■指標：公共での太陽光発電導入容量(kW)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	125	239	0	0	1,113
	累計	0	0	0	0	125	364	364	364	1,477
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

令和5年度の実績詳細	役場周辺エリアZEC化改修等検討業務、瓜幕エリア基本構想策定業務を発注し、概略設計を実施。令和5年度の導入無し。
------------	--

■指標：公用車の脱炭素車両の導入台数(台)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	3	2	2	2	2	3	3	3
	累計	0	3	5	7	9	11	14	17	20
実績	単年度	12	1							
	累計	12	13							

令和5年度の実績詳細	令和4年度：水素自動車 10台、電気自動車 1台、PHEV自動車 1台 令和5年度：PHEV自動車 1台、外部給電器 7台
------------	--

■指標：民間事業者によるカーシェアリングの利用者数(人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1500
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	1500
実績	単年度	0	0							
	累計	0	0							

令和5年度の実績詳細	「EVカーシェア」は、システム開発を検討したところ、開発費用及びランニングコストが高額となることが判明したため、民間事業者に事業実施の検討を依頼している。
------------	---

■指標：徒歩・自転車通勤実践率(%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	51	55	59	63	67	71	75	79	80
	累計	51	55	59	63	67	71	75	79	80
実績	単年度	51	51							
	累計	51	51							

令和5年度の実績詳細	徒歩・自転車通勤の普及啓発を継続実施。
------------	---------------------

<事業実施体制>

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業				
再エネ発電事業				
小売電気事業 (地域新電力)	エネウィル	地域新電力設立に向けて協定を締結(2024.3.29)し、町内の2基のバイオガスプラント及び太陽光発電の再エネ価値(非化石証書)を取得して、供給していく予定。また、併せて町内遊休地を活用した系統用蓄電所によるリスクヘッジ+町内再エネ拡大の土壌づくりを検討中。	需給・採算性シミュレーション等の調査を行い、採用の可否を判断する。	—
送配電事業				
都道府県				

<進捗管理の実施体制>

進捗管理に係る会議体等の名称	取組内容	実施状況(会議開催頻度、主な意見、懸念事項等)
ゼロカーボンシティ推進協議会	取組進捗状況の報告、今後の進め方について相談。	2022.6.21(火): 脱炭素先行地域に選定された旨を説明し、今後の取組内容について了承された。鹿追町ゼロカーボンシティ推進戦略の記載内容について、前回の会議での指摘、脱炭素先行地域への申請内容を踏まえ、追記・修正した内容について了承された。 2023.3.24(金): 脱炭素先行地域事業のR4年度の取組状況について説明した。家庭等への補助金助成の情報、町民への脱炭素の取組の普及等のため、情報発信をしていくことが重要。町民、事業者、若者が率先して脱炭素や地域課題解決の取り組みを進めるようにすることが必要。鹿追町地球温暖化対策実行計画について説明し、内容について了承された。重点対策加速化事業への申請内容について説明した。

<他地域への展開に関する取組>

--

< 地方公共団体実行計画の策定又は改定状況 >

取組内容	改正温対法に基づく地方公共団体実行計画の策定又は改定状況等			
事務事業編	○ 改定済(令和5年3月)		改定中(○年○月策定予定)	改定予定なし
	改定予定なしの理由:			
区域施策編	○ 改定済(令和5年3月)		改定中(○年○月策定予定)	改定予定なし
	改定予定なしの理由:			
促進区域の設定		○ 改定済(令和5年3月)	○ 検討中(7年3月設定予定)	設定予定なし

【事務事業編】

計画期間	2022年～2030年
削減目標	64%減
取組概要	区域施策として実施する取組（公共施設の再エネ導入、更新公共施設の ZEB 化、地域新電力会社設立等）、個人・組織での取組（電気・燃料使用量の削減、環境配慮技術の導入、資源循環体制の構築等）

対象	目標値
温室効果ガス総排出量	2,208t-CO2
太陽光発電設備を設置	637kW
公共施設の省エネルギー対策の徹底	電気使用量の削減、燃料使用量の削減 を実施。目標値なし。
公用車の電動車の導入	20台
LED照明の導入	目標値なし。
再エネ電力調達の推進	更新公共施設の ZEB 化施設数1施設

【区域施策編】

計画期間	2022年～2030年
削減目標	48%減
取組概要	産業での取組（バイオガス化による処理や太陽光発電の導入等、吸収源となる森林の適正管理等）、業務その他部門での取組（ワーケーション等の誘致、ゼロカーボンの取組を活用した企画などの誘客施策、然別湖エリアのゼロカーボンパーク化）、家庭での取組（省エネや再生可能エネルギー導入の普及、地元食材の選択、地元サービスの活用等）、運輸での取組（車両の小型化や FCV・EV化、カーシェアリング等、貨物輸送の脱炭素化）

施策分類	目標値
再エネの導入促進	産業4521kW、家庭2735kW
事業者・住民の省エネその他の排出抑制促進	省エネ行動、グリーン購入等。

【改正温対法に基づく促進区域の設定方針】

①役場周辺エリア、②瓜幕エリア、③然別湖エリア、④エネルギー供給エリア、⑤その他の公共施設群、⑥重点対策群への対策とする
--

<今年度実績に係る写真>

導入設備等写真貼付欄	設備名、設置場所等記入欄
 	<p>V2L導入（計7台） PHEV自動車 1台導入（脱炭素先行地域事業以外の取組）</p>